

令和5年度 第6回  
栃木西部地域会議会議録

令和5年10月17日(火)  
栃木市皆川公民館 大研修室

栃木西部地域まちづくりセンター

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第6回栃木西部地域会議
開催日時	令和5年10月17日(火) 19時00分 開会 19時37分 閉会
開催場所	皆川公民館 大研修室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p><u>1 開会</u></p> <p style="text-align: center;">— 開会 —</p> <p><u>2 あいさつ</u></p> <p style="text-align: center;">— 酒巻会長あいさつ —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先月の皆川中・吹上中・寺尾中統合準備会の件。教育委員会に報告する新しい学校名の候補について。教育委員会の審議を経た後に12月の議会にかけられるはずである。決定となれば公表となる。どこかの時点で教育委員会から地域会議への説明の要請をしたいと考えている。</li> <li>・10月2日(月)に正副会長会議を開催し本日の会議内容の打合せをした。</li> <li>・10月6日(金)に飯島センター長とともに地域会議の会長の集まりである「地域予算提案事業計画書提出式」と「栃木市地域会議連絡調整会議」に出席。8つある地域のうち5地域から令和6年度実施分の事業計画書提出が提出された。連絡調整会議は、お互いの地域の情報交換であり和やかな雰囲気であった。</li> </ul>
事務局	<p><u>3 議事</u></p> <p>(1) 令和5年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について</p> <p>&lt;説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の会議で、開催業務の委託先のNPO法人ハイジより、開催する3つのテーマについての説明があった。</li> <li>・開催日時や同時に開催する小中学生向け企画の内容については、正副会長におまかせするというので、前回の会議は終了した。</li> <li>・10月2日(月)に三役とハイジ出席のもと、正副会長会議を開催したの</li> </ul>

で、その結果の報告と今後の予定について説明するもの。

— 資料1に基づいて説明 —

〈小中学生向け企画について〉

- ・ハイジより提示された4つの案のうち、「箒づくり」を採用する。
- ・栃木西部地域で昔、栽培されていたハウキモロコシを材料として利用し、小さな箒を作る。講師をハウキモロコシの栽培をしている栃木農業高校の生徒に依頼する。
- ・「作る箒のサイズが小さいのではないか」というご意見があったところだが、栃木西部地域に縁のある作物を使つてのワークショップであり、参加者に栃木西部地域の歴史を知ってもらう良い機会にもなることから、この案で了承いただきたい。
- ・熟くり塾の開催目的のひとつとして、地域の抱える課題を共有し、「幅広い年代の人との繋がりを構築する」というものがある。小中学生から高校生、大人までの幅広い世代が参加し、ワークショップ中は高校生と小中学生が交流する場が生まれる。
- ・小中高生と大人の交流する機会は限られてしまうのが課題であるので、進行に多世代が交流できる工夫が加えられないか、ハイジに追加で相談する。

〈開催日時と会場等について〉

- ・第1回は令和5年12月23日(土)に寺尾公民館にて、「子どもたちが遊べる自然環境を守るために～ヤマビル・マダニはなぜ増えている?」をテーマに開催。同時刻に小中学生向け企画「箒づくり」を別室で開催。
- ・親子で両方に参加した場合、開催時間が3時間30分以上に及ぶため、子どもたちの集中力を考えて、同時に開催するのが好ましいという結論になった。
- ・第2回は年明け令和6年1月27日(土)に吹上公民館にて、「流域治水と減災～気候変動・豪雨多発時代の治水と環境保全を流域で考える」をテーマに開催。地域知事交流会で予定されている内容と被るが、栃木西部地域の流域治水に特化した内容とする。
- ・第3回は2月17日(土)に皆川公民館にて、「廃校活用のトレンドを知ろう」をテーマに開催。廃校となった学校を活用し、どうしたら地域を再生できるのか、まちむら交流きこうから派遣される講師から廃校活用の現状と基本的考え方、地域再生に向けた仕組みづくりといったお話をいただく予定。
- ・3回とも開始時間は13時30分から2時間を予定。

〈委員の運営参加について〉

- ・今年度の熟くり塾では、特に開催会場の地元委員に運営のご協力をいただ

<p>会 長</p>	<p>きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各回5人の地元委員に、事前の会場準備と司会、受付、駐車場誘導の3つの業務を分担する。役割分担は後日相談する。</li> <li>・地元の委員以外の委員もできる限り他の回に参加して欲しい。</li> </ul> <p>&lt;参加者の募集について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報とちぎ11月号にチラシの折り込みで地域内に全戸配付。応募状況に応じて、地域内の小中学校にチラシの配布依頼。</li> <li>・参加者の充足は毎年悩むところであるが、一番効果があるのは、やはり委員の声がけだと思う。各委員にチラシをお渡しするので、所属団体やお知り合いに対して積極的に参加を募ってほしい。</li> <li>・申込みはチラシのQRコードを読み取って申し込みができるほか、電話やFAX、公民館窓口でも受付するのであわせてご案内いただきたい。</li> </ul> <p>内容も詰まってきて、チラシもできあがり近々配布をしたいという状況。このまま進めてよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;一同異議なし&gt;</p>
<p>会 長</p>	<p>委員のみなさまには声かけのご協力をお願いしたい。また、開催地の委員については、早めに集合し準備等の手伝いをお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 令和7年度実施 地域予算提案事業案について</p> <p>&lt;説明&gt;</p> <p>&lt;市への質問・要望事項について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月から4回にわたりグループワークをとおして、地域課題の共有と整理をおこなってもらった。その結果を時系列でまとめたものが、資料2。</li> <li>・特に7月と9月のグループワークでは、地域課題の深掘りでは、市への質問・要望事項について話し合った。ここで出された意見は、市の各担当課に照会をかけ、回答をもらう。資料3は、各委員から出された意見を事務局でまとめた質問・要望書の原案になるもの。自分の地域から出された意見を中心に内容を確認いただき、質問・要望の趣旨に間違いはないか確認して欲しい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 資料2、資料3に基づいて説明 —</p> <p style="text-align: center;">&lt;意見・質問なし&gt;</p> <p>&lt;今後の予定について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3（市への質問・要望事項について）の内容で各課に照会をかける。回答は11月下旬に出てくる予定であるので、揃い次第、結果を郵送する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の地域会議からは、具体的な事業を考える段階に入る。回答を郵送する際、資料4（地域予算提案制度取扱事業の提案書）を同封する。地域予算を使ってどんなことができるか、具体的な事業案を考えて、公民館に12月末までに提出をお願いする。</li> <li>・令和6年度に提案する令和7年度実施事業の限度額は約556万円。今までのグループワークの結果や各課からの回答を参考にしつつ、提案をお願いする。今までの話合いの中から提案が出てくるのがベストではあるが、それ以外の分野からの提案でも構わない。</li> <li>・1月から会議を再開する際には、委員の皆さんから出された提案をベースに地域予算の使い道を協議していく。</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 資料4に基づいて説明 —</p>
委員A	資料3（市への質問・要望事項について）の回答が送られてきたら、資料4の提案書を書いて提出するというので良いか。
会長	回答書に提案書を同封するので、回答を参考にしながら、12月末までに令和7年度はここに予算を使いたいという提案書を返してほしい。
委員B	提案は資料2（「地域課題の深掘り」まとめ）で取り上げた内容に限るのか。
会長	今まで話に出なかったものも対象としてよい。
副会長A	3地域（皆川・吹上・寺尾）で意見のすり合わせはするのか。
会長	各地区で集まってもよいし、同じような方向性がある方同士で地区関係なく集まって話合い連名で出してもよい。特に決まりはない。
副会長A	地域ごとにすり合わせが必要だと思えば集まってもよいし、あくまで個人の発案でもよいということなのであれば、どのような方法で提出しても良いということか。
事務局	ただ、予算の使い方を絡めて考えることになる。
副会長A	事業になりやすいものを提案したほうがよい。
事務局	その通り。皆さんからのアイデアから、より実践的なものを抽出していければと考えている。
副会長A	できれば3地域がまとまってできるようなものがあると思う。

副会長B	もともとはそのような趣旨でやってきたところがある。
会 長	皆さまご理解いただけたということで、事務局の説明した通りの流れで進めていく。12月末までの提案をお願いします。
事務局	<p><u>5 その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>地域予算事業計画書提出式について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月6日（金）地域予算事業計画書提出式に酒巻会長が出席。</li> <li>・ 栃木西部地域は「まちづくり塾開催事業」を提案したことを報告。</li> <li>・ 順調にいけば令和6年度実施事業として予算措置がされる。</li> </ul> </li> <li>・ <b>第7回栃木西部地域会議について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年1月16日（火）18時30分から 吹上公民館にて開催予定。</li> <li>・ 11月の会議は中止とし、1月に延期。開始時間が30分早まる。</li> </ul> </li> </ul> <p><u>5 閉会</u></p> <p style="text-align: center;">—— 以上、何も無いことを確認 ——</p> <p style="text-align: center;">—— 閉会 ——</p> <p style="text-align: center;">(会議終了時刻 19時37分)</p>

別紙1 出席者及び事務局

<出席者（委員）>

会 長	酒巻 幸夫	副会長	峰岸 晃一
副会長	中島 元一	委 員	宇佐見 まり子
委 員	厚木 秀夫	委 員	毛塚 豊子
委 員	門沢 イミ子	委 員	正田 秀雄
委 員	石沢 恵一	委 員	関口 みよ子
委 員	鈴木 加織	委 員	棚橋 利行
委 員	蓼沼 善雄		
委 員	吉田 美奈子		

<欠席者（委員）>

委 員 小池 祐也

<事務局>

飯島 洋子 (吹上公民館長兼栃木西部地域まちづくりセンター所長)  
金子 博文 (皆川公民館館長)  
佐藤 光三 (寺尾公民館館長)  
石沢 竜次 (吹上公民館主査)

## 別紙2 会議事項及び配付資料一覧

### <会議事項>

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 令和5年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について
  - (2) 令和7年度実施 地域予算提案事業案について
- 4 その他
  - ・地域予算事業計画書提出式について
  - ・第6回栃木西部地域会議について
- 5 閉会

### <配布資料一覧>

- ・令和5年度 栃木西部熟くり塾 実施計画 資料1
- ・栃木西部熟くり塾チラシ
- ・「地域課題の深掘り」まとめ 資料2
- ・地域の課題・改善点等に対する意見 資料3
- ・地域予算提案制度取扱事業の提案書（案） 資料4
- ・地域会議から提出された令和6年度実施地域予算事業計画書について（一覧表） 資料5